

語り始めた被害者たち

～明らかになってきた現代の性暴力・性搾取～

ポルノは楽しむもの、
被害者などいないと
思われていました。

“こんなこと私ができるのだから”
家族にも友人にも相談できない、
と思っていた女性たちが支援団
体につながり、解決をともに探る
中でその構造が少しずつ明らか
になってきました。



そこには脅し、騙しがあり、「デジタル性暴力」と言ってもよいネットでの拡散による被害も多くありました。何年も何十年も苦しみ続け、沈黙を強いられてきた女性たちが次々と相談を寄せるようになりました。

今、何が起きているのか、
現場からのご報告をいたします。

公益財団法人
日本キリスト教婦人矯風会主催講演会

講師：田口道子さん

ポルノ被害と性暴力を考える会（PAPS）理事長、矯風会性・人権部門（裏面にプロフィール）

2018年11月3日（土）

14：00～15：30（受付13：30）

会場：矯風会館3階集会室（JR大久保駅北口徒歩1分。裏面に地図）

チケット 前売り：800円、当日：1000円

郵便振替口座：00140-1-32469 加入者名「日本キリスト教婦人矯風会」

※通信欄に「11/3集会」とお書きください。

講師：田口道子さん

NPO 法人ポルノ被害と性暴力を考える会（PAPS）理事長、矯風会性・人権部門。知的障害者入所更生施設や身体障害者福祉センター等障害分野で約30年、婦人保護施設2カ所で12年、支援員・施設長として働く。その後「性搾取問題ととりくむ会」（2018年3月解散）、PAPSと、それぞれの現場で差別、貧困、ジェンダー問題に取り組んでいる。

被害者談窓口

<https://paps-jp.org>（ホームページ）

paps@paps-jp.org（メール）

050-3177-5432（電話）



PAPS（ぱっぷす）は、リベンジポルノ・性的な盗撮・グラビアやヌード撮影によるデジタル性暴力、アダルトビデオ業界や性産業にかかわって困っている方の相談窓口です。撮影やお金のトラブル・動画の販売停止・削除などについて、一緒に考えながら事業者と交渉しています。相談していいの？と思うことでも、ご相談をお待ちしています。

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会は…

1886年（明治19年）に創立した、日本で一番歴史の長い女性団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人々特に女性と子どもへの支援につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することをめざしています。

具体的には、武力によらない平和、脱原発、女性・子どもへの暴力問題、アディクション（依存症）問題などをテーマとした学習会・講演会を多く開催しています。女性のための施設としてシェルター運営も行っています。

所在地：東京都新宿区百人町2-23-5

電話：03（3361）0934

FAX：03（3361）1160

ホームページ：<http://kyofukai.jp/>

